

令和7年度 第2回学校運営協議会 要旨

日時: 令和7年(2025年)9月12日(金) 11:00～12:30

場所: 北海道真駒内養護学校 会議室

1. 開会・校長挨拶

- 季節の概況と児童生徒の様子: 清々しい季節となり、プール学習や校外学習、宿泊行事など、それぞれの学びに励んでいる。小学部では10月4日の学習発表会に向けた練習が開始された。
- 本日の趣旨: 前期教育活動の報告とともに、「地域に開かれた学校」「地域とともに歩む学校」を目指し、地域と学校ができることについて熟議を深めたい。
- 児童生徒の外部活動: はまなす車いすマラソンへの参加、24時間テレビでのダンスコラボ、北広島市でのボッチャ大会出場など、学校外でも多様な挑戦を続けている。

2. 学校からの報告・説明

(1) 不祥事防止の取り組み

- 個人情報管理: 特別支援学校として大量の要配慮個人情報を扱っている。誤配等のヒューマンエラーを防ぐため、書類の封入管理や管理職チェックを徹底。今後の工夫として、不必要な個人情報の記載を控える、イニシャル表記や識別番号の活用を検討中。
- 定期点検の実施: 他校での不祥事(盗撮事件)を受け、校内施設の緊急点検を実施。今後も信頼回復のため、定期的な点検を継続する。

(2) ICTの活用状況

- 学習での活用: 従来のYouTube視聴等の息抜き利用から、一步踏み込んだ教科学習への活用を模索中。アプリを用いた漢字学習や、デジタルの拡大機能を活用した美術(写生)など、デジタルとアナログを組み合わせた効果的な学びを検討している。
- オンライン活用: 他校との遠隔交流や、病欠・通学困難な児童生徒向けの「朝の会」オンライン参加を実施。
- 校内業務・保護者支援: 教職員向けポータルサイトによる情報共有の効率化や、PTA会議・保護者説明会をZoomで配信し、来校が困難な保護者への利便性を高めている。

3. 熟議: 地域と学校が手を結んでできること

A委員 (PTA関係)

- 全国大会の報告: 全国肢体不自由児者PTA連合会の大阪大会に出席。全国各地で保護者の悩みやPTAの持続性について同様の課題を抱えている。
- 提案: 各地で模索されている解決策や成功例(ナレッジ)を、地域を越えて共有できる仕組みがあれば、より効果的な活動に繋がると感じた。

Y委員 (地域自治組織関係)

- 防災の取り組み：近隣町内会でも防災訓練を行っているが、誰がどの避難所に逃げるか等の具体的な「振り分け」が今後の課題。
- 地理的リスクの把握：河川氾濫時の浸水想定など、正確なデータに基づいた避難シミュレーションを学校と共に考えていく必要がある。

N委員（スポーツ・教職関係）

- 施設開放と連携：学校はバリアフリー設備が整っており、パラスポーツの拠点として理想的。現状の開放利用は難しくとも、学校が主体となって企画するスポーツイベント（土曜日開催など）に、外部のパラスポーツクラブが「指導的立場」で協力する形であれば、接点が作りやすい。
- アスリート交流：寄宿舍へのアスリート派遣など、小さな交流を積み重ねることで子どもたちの可能性を広げたい。

校長

- 学校主体で地域を巻き込む企画であれば、道教委の管理下でも施設利用の可能性はある。教職員の勤務体制との調整が課題だが、貴重な視点である。

K委員（福祉事業所関係）

- 地域交流の場：運営する事業所で「フェスタ」を開催する。地域住民、近隣小学校、幼稚園との交流を深める機会としており、そこで養護学校の活動も紹介し、理解を広めていきたい。

事務局・地域からの提案（ペットボトル砂袋の活用）

- 事務局：作業学習で作製している「滑り止めの砂袋」を地域に提供し、貢献できないか検討中。
- Y委員：南福社会館や河川敷の散歩コースなど、冬場の凍結路面で砂を必要とする場所はある。設置場所（玄関先等）を工夫すれば、住民の役に立つ。

4. 委員による近況報告・専門的見地からの提言

T委員（医療関係）

- 食形態の進化：ST（言語聴覚士）が配置されて以降、学校の食形態（圧力鍋による調理等）が児童生徒の摂食機能に合わせて飛躍的に改善されたことを高く評価。次回の学会でも知見を深めてきたい。

T委員（音楽療法・地域活動関係）

- 指導の工夫：長年音楽の授業に関わっているが、楽器の提示方法一つをとっても、児童の反応に合わせた実践的な工夫が見られるようになってきた。
- 余暇活動の支援：放課後のデイサービス等の移動支援は保護者の負担が大きい。学校の施設をより活用できる機会が増えれば、地域との繋がりもさらに深まる。

T委員（社会福祉関係）

- 情報提供：11月に開催される大規模な「福祉用具機器展」について紹介。最新のICTや福祉用具の情報が得られる貴重な機会。
- 赤い羽根共同募金の現状：寄付形態の多様化により、地域福祉のための募金が減少傾向にあ

る。この募金はあらかじめ使い道を申請し、審査を経て配分される「計画募金」であり、地域福祉活動を支える重要な財源であることを改めて理解してほしい。

Y委員

- 精進川の美化活動：河川敷の草刈りを行っているが、担い手の高齢化と不足が深刻。地域の環境維持には若い力の加入が切実に求められている。

N委員

- 活動の広がり：ジュニア向けパラスポーツクラブを運営。本校の児童生徒も多く在籍しており、学校での教育目標と、クラブでの「スクール・チーム・アスリート」の流れは共通していると感じる。
- 課題：競技用車いす等の道具の高騰、活動場所の確保、移動手段の確保が大きな壁となっている。ロコミを通じた保護者同士のネットワークが、参加のきっかけとして最も効果を上げている。

5. 閉会

- 次回日程：令和8年2月13日（金）11時より開催予定。
- 校長結び：防災やスポーツ、地域貢献など多岐にわたるヒントをいただいた。2月の第3回会議では、次年度の経営方針の説明を含め、さらに議論を深めたい。

